

第 18 回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成 24 年 2 月 8 日（水）

場 所：本部棟 3 階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長

大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長

新保祐司国文学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長

杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：田中一利理事

■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

議 事

(1) 初等教育学科専任教員（物理学）の採用について（投票）

○初等教育学科専任教員の採用について投票が行われ、投票の結果、信任多数により承認。

(2) 平成 24 年度非常勤講師（国文学科：日本仏教史Ⅱ）提案について

○担当より説明、投票の結果、提案通り承認。

(3) 平成 24 年度非常勤講師（社会学科：特別講義）提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

・教育研究業績書の単著共著の欄を修正し、事務局に修正した書類を提出する。

*特別講義だからこの先生というのは分かるが、いろんな人で講義を持ってもらうよりは、安定して同じ人に講義をいくつか持ってもらう方がいいのではないか。

また、職歴が無い人が案件としてあがってくる事が多いように思われるので、もう少し職歴がある人も混ぜていく必要があるのではないか。

(4) 平成 24 年度非常勤講師（社会学科：家族とジェンダー）発議・提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(5) 平成 24 年度非常勤講師（比較文化学科：現代アジア文化・社会論Ⅱ（政治・国際関係））提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(6) 平成 24 年度非常勤講師（外国語教育研究センター：韓国朝鮮語基礎Ⅲ、Ⅳ、韓国朝鮮語講読Ⅰ、

Ⅱ) 提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・公募の段階では担当科目は「韓国朝鮮語基礎Ⅰ・Ⅱ(初級)」だったが、本人との科目適合性を考え「韓国朝鮮語基礎Ⅲ・Ⅳ」を受け持ってもらったこととした。(本人とも確認済み。)

(7) 平成24年度大学院非常勤講師(国文学専攻:日本語学演習Ⅰ)提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(8) 平成24年度大学院非常勤講師(英語英米文学専攻:英文学研究)提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(9) 平成24年度非常勤講師(初等教育学科:算数教材研究C、数学概論A、B、専門演習Ⅱ(応用数学))
採用の発議・提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・意見書は訂正印が押してある個所、持ちコマ数を修正し事務局に提出。

(10) 平成24年度非常勤講師(初等教育学科:算数概論C、D、線形代数学、微分積分学)採用の発議・
提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・助手として勤務しているのか、助教授として講義を持っているのかを確認して、次回の教育研究審議会にて報告。

(11) 平成24年度非常勤講師(初等教育学科:代数学、整数論、幾何学、位相空間論)採用の発議・提
案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・意見書は訂正印が押してある「記号と論理」を削除し・持ちコマ数を修正し事務局に提出。

(12) 平成24年度非常勤講師(初等教育学科:教育行財政学、教育行政特殊研究)採用の発議・提案に
ついて

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・現在は大学名が変更となっているため、履歴書の書き方が正しいか確認し、次回の教育研究審議会にて報告。

(13) 平成24年度非常勤講師(共通教育:地域交流研究Ⅰ(防災マップづくりワークショップ))採用の
発議・提案について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

(14) 平成24年度非常勤講師(国際交流室・留学委員会:1件)採用の発議について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

集中日本語(中級)Ⅱ[前期・後期]

日本語中級Ⅲ[前期A・前期B]

(15) 平成 24 年度非常勤講師授業担当科目の取消、更新について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・日本語教育（留学生科目）を担当している非常勤講師の持ちコマ数が 6 コマと多く、規程では非常勤講師の持ちコマ数は 4 コマまでとなっている。また、原則として 1 日に 3 コマを超える場合には、2 日に分けて講義を行うことになっている。

通常コマ数と集中講義のコマ数を合わせて 6 コマとしていると思われるが、今後対応については考えていく必要がある。

- ・日本語教育は指導を行う専任教員がないという問題点もあり、日本語教育の特任教員を採用しようということで動き始めている。

(16) 大学院資格審査投票について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

- ・大学院資格審査について、資格審査委員会内で一つのプロセスとして審査過程で投票を行いたい。資格審査委員会の投票結果に関係なく、審査対象者の審議は教育研究審議会でも行い、研究科長が最終的に決定をする。